

国家検定合格品

農業用マスク使用の手引き

しっかり装備で、農薬散布による
中毒事故を防ぎましょう！



農薬中毒は、農薬に触れたり、吸い込んだりしなければ、必ず防ぐことができます。これまでに起こった中毒事故の一番の原因は、装備不十分によるもので、全体の約五割以上を占めていると言われています。事故を未然に防ぐためには、確実な防護装備を用意し、いつも正しく着用することが重要です。

安全なポイント

農薬散布の作業を安全におこなっていますか？

農薬散布を安全におこなうための5つのチェックポイント

1 健康度チェック

- 寝不足、過労はありませんか？
- 手足にキズはありませんか？
- 食事はとりましたか？
- お酒の飲み過ぎ、タバコの吸い過ぎはありませんか？
- 妊娠していませんか？

2 装備品チェック

- 農業用マスクは？
- カップ、防除衣は？
- ゴグル（メガネ）、手袋、長靴は？

3 農薬ラベルチェック

- 本日使用の農薬のラベルを読みましたか？
- 希釈倍率は？
- 散布方法は？
- 散布量は？

4 作業前チェック

- 散布機械の動作点検は？
- 強い風は？風向きは？
- 日差しや気温は？

5 作業中チェック

- 薬剤を浴びないように注意していますか？
- 周囲に飛び散らないよう注意していますか？
- 同じ人が長時間作業を続けていませんか？
- 農業用マスクや防除衣を正しく装着していますか？**



装着のポイント

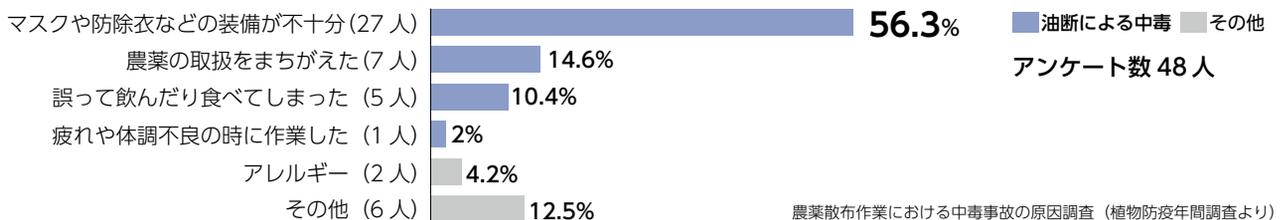
農業用マスクを正しく装着していますか？

安全防除には、農業用マスクは欠かせません。

56.3%

農薬中毒事故の一番の原因は、農業用マスク等の装備不十分が約56.3%を占めているといわれています。

農薬中毒事故の80%が油断によって起こっています。農薬を見くびらず、農業用マスクやゴム手袋、防除衣等の保護具を正しく装着し、農薬散布をおこないましょう。



農薬散布作業における中毒事故の原因調査（植物防疫年間調査より）

30~100倍

農薬の人体への吸収は、皮膚からのものを1とすると、肺からの吸収は、30~100倍になるといわれています。

農薬の細かい粒子は、皮膚や口、鼻から吸収され中毒を引き起こします。農薬散布時の呼吸量は通常の5倍以上になります。そのため皮膚からの吸収を1とすると口や鼻から肺を経て吸収される量はその30~100倍になるといわれています。

皮膚からの吸収 ■ 皮膚からの吸収を1とする

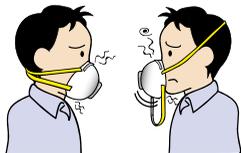
肺からの吸収 ■ 30以上

1

厚生労働省の国家検定合格品を選びましょう！

ガーゼマスクや簡易マスクは国家検定合格品ではありません。

タオルや手ぬぐい、ガーゼマスクや簡易マスクでは農薬の侵入を防ぐことはできません。安全性、信頼性の確かな国家検定に合格した農業用マスクを正しく装着し、農薬散布作業中はいつも着用することが重要です。



誤った装着方法では、マスク性能が発揮されず危険です。



ガーゼマスクや手ぬぐいでは、農薬の侵入を防げません。



国家検定合格品は印字やシールでご確認いただけます。



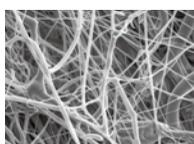
2

用途に合ったマスクを使用しましょう！

農薬散布のための呼吸用保護具には、大別して防じんマスクと防毒マスクがあります。

防じんマスク

農薬散布時に装着しましょう。



防じんマスクフィルター

防じんマスクは、フィルターが粉剤や液剤の農薬を捕集します。



使い捨て式防じんマスク



取替え式防じんマスク

防毒マスク

土壌くん蒸時に装着しましょう。



活性炭フィルター

防毒マスクは、活性炭がガスや蒸気などを吸着し、呼吸を守ります。



防毒マスク

※臭化メチル取扱い時には、臭化メチル用吸収缶をご使用ください。

3

吸気・排気抵抗はできるだけ低いものを選択しましょう！

吸気抵抗や排気抵抗が低いということは、それだけ呼吸がしやすいということです。排気弁付きのマスクは、呼吸を直接外に出すため、マスク内の熱やムレが少なくなり、快適に作業がおこなえます。



のれん型の排気弁が呼吸を排出



2つの吸気口と排気弁があるマスク

4

軽いマスクを選びましょう。

重いマスクを長時間使用すると、首にも負担がかかります。特に取替え式マスクは重さのバランスが重要な要素になります。なるべく軽いマスクで、重心位置が顔に近いものを選択しましょう。



吸収缶やフィルターを着ける位置が顔面に近くなっているので、同じ重さでも、軽く感じる最適重心設計です。

5

すきまをつくらず正しい装着をしましょう。

高性能のマスクを使用しても、顔との密着性が悪く漏れ込みを起こしているようであれば、農薬は侵入してしまいます。特に鼻の脇など凹凸の部分に注意し、いつでも正しく装着できるように練習することもとても大切です。



アルミ製のノーズクリップで、鼻の脇からの漏れ込みを抑えます。



鼻にあたる部分の立体的なデザインにより、漏れ込みを抑えます。

農業用マスク(使い捨て式防じんマスク)

正しい使い方



すきまを作らず、正しく装着

マスクが顔に密着しているか、鏡などを使って目で見ながら装着しましょう。

マスクの寿命は3~4回

農業の種類や散布条件で異なりますが、10時間から12時間をメドに交換してください。また、マスクを着用して臭いを感じたり、息苦しい時には新しいものに取り替えましょう。

マスクに慣れよう

保護具は慣れるまで違和感を感じますが、健康を守るためには、装着を習慣づけましょう。

水洗いは厳禁!

不織布製の防じんマスクは、洗うと変形したり本来の機能を損なうため、洗浄しての再使用はできません。

防護マスク/粉剤・液剤用(取替え式防じんマスク)

正しい使い方



使用前の点検

吸気弁、排気弁が正常に作動しているか点検しましょう。

汚れたら、フィルターの交換を!

フィルターの内側(面体との取付け口)の汚れが目立ってきたら、フィルターを取替えましょう。フィルターの交換は、誤装着のないよう取扱説明書に従ってください。

水洗いは厳禁!

フィルターは、洗うと変形したり本来の機能を損なうため、洗浄しての再使用はできません。

正しい保管で

使用後は、取扱説明書に従って正しくメンテナンスをおこない、マスクは購入時の箱に入れて保管しましょう。

※マスクの内側に農薬が入り込むおそれがあるため、農業保管庫には保管しないでください。

防護マスク/土壌くん蒸用(防毒マスク)

正しい使い方



使用前の点検

吸気弁、排気弁が正常に作動しているか点検しましょう。吸気弁、排気弁及び吸収缶のパッキングが、正しく装着されていることを確認しましょう。

正しい保管で

使用後は、取扱説明書に従って正しくメンテナンスをおこない、マスクは購入時の箱に入れて保管しましょう。

※マスクの内側に農薬が入り込むおそれがあるため、農業保管庫には保管しないでください。
※臭化メチル取扱い時には、臭化メチル用吸収缶をご使用ください。

吸収缶の交換

吸収缶の能力には限界があります。使用間隔が1ヵ月以上あいている場合や、装着中に臭気を感じた時には必ず吸収缶を交換してください。また、左右の吸収缶は同時に交換してください。

警告

本カタログの防じんマスク/防毒マスク及び吸収缶は、ある種の粒子状物質やガスまたは蒸気に対しては有効です。ただし、誤った使用をされますと健康に障害を及ぼしたり、死に至ることがあります。正しいご使用のためには取扱説明書をよく読んでからご使用ください。

3Mは、3M社の商標です。

3M™ 呼吸用保護具取扱店